感謝と絆 ―信頼の50周年―

金融公社のあゆみ

公益財団法人　名古屋市小規模事業金融公社

ご　挨　拶

昭和36年に設立された当公社は、おかげさまをもちまして本年4月をもって創立50周年を迎えることができました。

これも、ひとえに日頃から当公社をご利用いただいておりますお客様と名古屋市をはじめ関係各位の皆様のご支援ご指導の賜物であると深く感謝申し上げますとともに、公社を導いてこられた諸先輩のご尽力に対し、敬意を表する次第でございます。

顧みますと、小規模事業者の資金需要に応えるため名古屋市の出捐により設立されて以来半世紀、高度経済成長期を経て、オイルショック、バブル経済とその崩壊、世界金融危機等、経済の大きな変動がございましたが、この間、当公社は、一貫して小規模事業者等の方々への金融を中心とした経営支援に努めてまいりました。

設立当初、融資限度額30万円の一般資金融資だけであった融資制度も、現在では、融資限度額1200万円の経営活性化資金融資を始めとして、創業支援、ものづくり産業支援、商店街活性化など、5つの融資制度となり、また、専門家の派遣を行う「専門家おでかけ相談事業」の実施など、支援の拡充に努めまして、市内の小規模事業者等の方々に広くご利用いただいております。

本年4月1日には、創立50周年と期を同じくして、公益財団法人として新たなスタートを切ることとなり、当公社として2つの大きな節目の年となるわけでございます。

先日発生した東日本大震災は経済にも大きな影響を与えることが予想されますが、一段と厳しい環境下におかれます小規模事業者等に対し、役職員一同、50年の感謝と絆の心を大切にしながら、決意も新たに一層お役に立つ経営支援に努めてまいる所存でございます。

今後ともより多くの小規模事業者の方々のご利用と関係各位のご指導とご支援を心からお願い申し上げましてご挨拶といたします。

公益財団法人 名古屋市小規模事業金融公社

理事長　岡　本　浩

創立５０周年を祝して

名古屋市小規模事業金融公社がこのたび創立50周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴公社は、戦後の経済復興も一段落し、経済活動が拡大発展する高度成長期を迎えた昭和36年4月に設立され、以来、小規模事業者の経営の改善・合理化ならびに事業活動の育成をはかり、本市の産業振興に大きく貢献してこられました。長きにわたり、小規模事業者に対するきめ細やかな支援を積み重ねてこられた歴代の理事長をはじめとした職員の皆様、関係金融機関や関係団体の皆様に心から感謝申し上げるとともに、敬意を表します。

さて、当地域の経済に目を向けますと、リーマン・ショックに端を発した世界的な景気低迷から、一部回復の兆しが見られるものの、先行きについては円高基調や原油・原材料の高騰など不透明感が強く、小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。加えて、先日東北地方に甚大な被害をもたらした東日本大震災による日本経済への影響も懸念されております。そのような中、資金調達の面でも困難な立場にある小規模事業者を対象として、金融の円滑化にご尽力いただいている貴公社の役割は、今後ますます重要なものになってまいります。

本市におきましては、日本一早く不況から脱出し、経済復興するという目標を掲げ、緊急経済対策等の各種施策を展開してきました。地域経済と雇用において大きな比重を占める中小企業は、本市の財産ともいうべき存在であり、中小企業者への支援を行うことにより、経営基盤の安定化、地域産業の活性化を促し、日本一元気で活力のあるまち名古屋を築いていきたいと考えております。

貴公社におかれましては、本年4月に50周年という記念すべき年を迎えられただけでなく、公益財団法人として新たなスタートをきられました。今後とも、市内小規模事業者の良きパートナーとして一層のご活躍、ご発展をされますことを祈念いたします。

名古屋市長　河村たかし

金融公社は“がんばる企業を応援します”

経 営 理 念

金融公社は、小規模事業者等に対する金融･経営相談を行うとともに、
他より事業資金を調達することが困難な小規模事業者等に対しては貸付等を行い、
もってその経営の改善、合理化及び活性化を図るなど、経営を総合的に支援することにより、
名古屋市内全域における商工業の振興に寄与することを目的とする。

平成23年4月から「公益財団法人」として
新たなスタートを切りました。

名古屋市内
小規模事業者等

平成22年度
経営相談件数
1,937件

総合的
支援

平成22年度
融資実績 1,022件 / 63.7億円

名古屋市小規模
事業金融公社

平成22年度
融資残高 5,628件 / 219億円

金融・経営相談

経営のお悩みをおきかせください。

小規模事業者等

相談

名古屋市小規模事業金融公社

融資

経営活性化
創業・事業展開支援
…

公的資金を利用し、返済したことで信用力がついた。

他機関紹介

信用保証協会
日本政策金融公庫
新事業支援センター
…

窓口で事業資金の融資相談を受けたとき、市内の事業者が利用できる公的資金の取扱機関を紹介してくれました。

返済相談

返済の相談をしたら、返済額の緩和などの条件変更等に柔軟に対応してくれた。

融資訪問時

審査面談時に事業に関する改善点、アドバイス等をもらった。

経営相談

専門家おでかけ相談事業

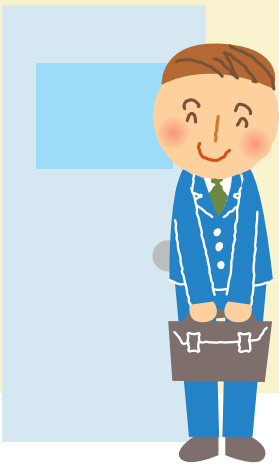
専門的な経営の悩みに実務経験豊富な専門家を連れてきてもらって、経営課題の解決に取り組んでくれた。

専門家おでかけ相談事業

名古屋市内の商業･サービス業などの経営者の皆様のお悩みに対して、
豊富な実務経験を持つ専門家が経営課題を解決していきます。

訪問回数2～3回	秘密厳守	無　料

経営課題の解決にぜひお役立てください。



相談の流れ

お申し込みいただくと、公社職員がご相談内容をお聞きします。

専門家と公社職員が訪問してヒヤリングを行います。

実態を見ながら専門家が具体的なアドバイスを行います。

おもな相談事例

経営改善点の抽出･指導

販売促進･収益向上

店舗診断･改善

財務･資金繰り

IT化の促進

ホームページの作成･改善

経営相談のお問い合わせは ☎052-735-2124

融資制度のごあんない

事業資金のことなら、おまかせ

運転・設備資金をお考えのかたに

経営活性化資金

融資金額	1企業 1,200万円以内	
返済期間	運転:7年以内　設備:10年以内	
返済方法	月賦払	返済5年以内(6か月以内の据置可)
		返済5年超(12か月以内の据置可)
連帯保証人	1人以上 (会社の場合は、代表者の他に1人以上)	

ものづくり産業の創業等、設備導入をお考えのかたに

ものづくり産業支援資金
(ものづくり創業等資金／ものづくり設備導入資金)

ものづくり創業等資金	
融資金額	1企業 1,000万円以内 (ただし、必要総資金の90%以内)
返済期間	運転・設備　7年以内
返済方法	月賦払(6か月以内の据置可)
連帯保証人	1人以上 (会社の場合は、代表者の他に1人以上)

ものづくり設備導入資金	
融資金額	1企業 1,200万円以内 (ただし、対象設備費の1/2以内)
返済期間	設備　5年以内
返済方法	月賦払(6か月以内の据置可)
連帯保証人	2人以上 (会社の場合は、代表者の他に1人以上)

※ものづくり産業に属する事業
製造業、自動車整備業、機械・家具等修理業、ソフトウェア業、デザイン業、機械設計業およびエンジニアリング業、研究開発支援検査分析業

創業、事業の多角化、転換をお考えのかたに

創業・事業展開支援資金

融資金額	1企業 1,000万円以内 (ただし、必要総資金の70%以内)
返済期間	運転・設備　7年以内
返済方法	月賦払(6か月以内の据置可)
連帯保証人	2人以上 (会社の場合は、代表者の他に2人以上)

※ものづくり産業に属する事業(注)以外のかた

機械類の導入をお考えのかたに

機械類貸与

貸与額	1企業 5,000万円以内
返済期間	耐用年数8年以上の機械類 7年以内 耐用年数5年以上の機械類 4年以内
返済方法	月賦払(6か月以内の据置可)
連帯保証人	2人以上 (会社の場合は、代表者の他に1人以上)

活気と魅力ある商店街づくりをお考えのかたに

商店街活性化促進資金

融資金額	1団体　1億円以内
返済期間	運転:5年以内　設備:10年以内
返済方法	月賦払(12か月以内の据置可)
連帯保証人	原則 代表理事

ください。

融資制度 Q&A

経営活性化資金について

Q 融資に必要な条件や資格はありますか?

A 税の滞納がないことや、法律上必須とされる許認可や資格等については取得されていることが条件になります。
なお、業種によっては対象にならないものもあります。

Q 名古屋市以外で事業を営む場合も対象になりますか?

A 原則として、名古屋市内で主たる事業を営む方が融資の対象となります。ただし、住所が市外であっても、市内に店舗、工場、事務所があり事業を行っていれば対象になる場合があります。

Q 申込から結果がわかるまで何日ぐらいかかりますか?

A お申込から結果がわかるまで2～3週間ほどです。ただし、審査の都合上この限りではございませんのでご了承ください。

Q 申込はどのようにすればいいですか?

A

①お申込
- 申込書に所定の書類を添えてお申込ください。
- 手数料など一切必要ありません。

▶

②調査
- お申込をいただくと、面談・調査の日時等を連絡いたします。
- 調査の際は事業の内容や資金の使いみちについてお伺いしますので帳簿などの関係書類をそろえ調査にご協力ください。

▶

③ご融資
- 融資が決まりましたら借用証書をお送りします。ご署名・ご捺印のうえ、必要書類とあわせてご持参いただき、窓口にてご融資の手続をしていただきます。
- ご融資の手続きが完了しますと、原則として翌日又は翌々日の公社営業日にご指定の口座へ振込いたします。

事業資金のお問い合わせは ☎052-735-2123

お客様の声

金融公社は、みなさまの良き経営

経営活性化資金

利用事例

金融公社の融資が新しい仕事へのチャレンジを支える

株式会社アトリエシア

◆厳しい業界に果敢な挑戦

1968(昭和43)年創業、今年で44年目を迎える㈱アトリエシア。グラフィック事業部、ディスプレイ事業部、近年ではデジタルコンテンツ事業部を加え、社員18人が一丸となって事業を展開している。率いるのは、2003(平成15)年に代表取締役社長に就任した藤田澄人さんと、弟で常務取締役の藤田和人さんだ。

先代の故藤田正澄社長のもと、前身の(有)アトリエ社に入社したお二人は、1995(平成7)年ディスプレイ事業部として(有)アド・エンタープライズ設立、2005(同17)年東京オフィス開設と、バブル経済後の厳しい広告業界に果敢に挑戦してきた。

グラフィックデザイン＆スペースデザイン 株式会社アトリエシア

Corporate Information

- ■会社概要／グラフィックデザイン&スペースデザイン "デザイン"と名の付くすべてのモノについて企画・デザイン・製作をトータルで行う。
- ■本社所在地／名古屋市西区比良3丁目541-1
- ■代表者／藤田 澄人(代表取締役)
- ■設立／個人 昭和43年4月1日 法人 昭和55年5月21日
- ■資本金／1,300万円
- ■社員／18名
- ■事業内容／サービス業(商業デザイン)

URL:http://www.ateliersia.co.jp/

◆命運をかけた東京進出

特に東京進出は大きな転機だった。「失敗したらスタッフに迷惑がかかる。『死ぬ気でやらないと』と、2年間営業で回って、何とか仕事になりました」と、藤田社長。「企業の広告費が削られていくなか、東京にオフィスを出したから今やっていけていると言えるでしょう」。今ではディスプレイ事業部で手がける展示会の発注が東京から増えてきている。

◆心強い資金的な支え

新しい仕事へのチャレンジ―それを支えるものの一つに、名古屋市小規模事業金融公社の融資がある。「何かにチャレンジしようというとき、経営活性化資金、創業・事業展開支援資金などで資金的に支えていただけるのはたいへん心強い。融資の決定も早いので、助かります」と、藤田社長。

◆ビジネスチャンスを活かす

元気がないと言われる業界で、若々しいエネルギーを発揮する㈱アトリエシア。「僕たちの強みは社員全員がデザイナーであること。デザイナーがクライアントと直接話をし、その意向をつかんで提案できることです」。こうして、他社より速く、クォリティの高い作品を提供する。「東京はマーケットが大きいので、いろいろなビジネスチャンスがある。大きな企業と直接仕事ができるのも魅力です。企画やデザインコンペ(競技)の機会を得て、実力で仕事を取ってくることもできるのです」と、藤田社長は目を輝かせる。

代表取締役　藤田 澄人様

創業・事業展開支援資金

利用事例

カフェから始まった事業展開 女性の視点で、しなやかに。

クッチョロカフェ 前田雅子さん（有限会社 アトリエ・ドゥ・ラ・ヴァリエッテ）

◆女性が事業を始めるときの壁

女性一人でも、夜遅くても、気軽に入れて、おいしいお茶やケーキでゆったりと時間を過ごす。そんなカフェをつくろうと前田雅子さんが思い始めたのは、今から10年以上前。「カフェ」というものがあまり知られていなかった時代、自己資金も少ない30歳になったばかりの女性が事業を始めるには、まだまだ大きな壁があった。そうした中、知人の勧めで「すがる思いで」金融公社を訪れた前田さん。「担当者の方が本当に親身になって話を聞いてくれた」と当時をふりかえる。

◆親身なアドバイスで開業資金を得る

若い女性にとって、お金を借りること自体大きな冒険で、事業の組立て方や資金計画もよくわからない。でもお店は絶対やりたい。公社の当時の担当者は、前田さんの意欲を見抜いた。「私を信じて応援してくれたことが、本当にありがたかった」。開業資金を得て、2001年12月、名古屋市千種区の住宅街に「クッチョロカフェ」はオープンした。

◆ビジネスとして確立させる「カフェ」

前田さんの手づくりで、名古屋初のベーグルやケーキを出し、犬と一緒にいられるスペースをつくるなど、カフェブームのさきがけとなったクッチョロカフェ。順調に売り上げを伸ばし3年後には栄店をオープン。スタッフは少人数だが、全員料理やお菓子づくりを担当する実力派。「独立してカフェを始める子も何人か出て、養成所みたいになっているんです」と前田さんは笑う。開業当時から「すぐに消えてなくなるような店にはしない」と、ビジネスとして確立させることを重視した前田さん。スタッフたちは、経営者としての前田さんの姿勢を学び、覚悟を決めて巣立っていくのだ。

●テイクアウトサービス

◆時代に応じた柔軟な事業展開

不況下で飲食業も勢いを失くす今、前田さんは事業の中心をケータリングとデリバリーに移行させつつある。企業などの懇親会や気軽なパーティーに、オードブルやスイーツをおしゃれな演出で届けるという、女性ならではの新たな事業展開だ。「時代に合わせながらお店も進化していく。その姿をお客様に見ていただきたい」と、次の10年を見据えている。

●ケータリングサービス

●移動カフェ「クッチョロカー」

●オリジナルケーキ制作

取締役　前田 雅子様

cúcciolo cafe

Corporate Information

- ■会社概要／飲食店経営　移動販売業務　ベーグル・ケーキの製造販売　ケータリング・パーティー業務
- ■本社所在地／名古屋市千種区猫洞通2-23
- ■代表者／前田　雅子(取締役)
- ■設立／平成13年6月　クッチョロカフェオープン
- ■資本金／1万円
- ■社員／11名
- ■事業内容／飲食業

URL:http://www.cucciolo-cafe.com/

沿　革　50年のあゆみ

1960

1961 昭和36年

4月
名古屋市信用保証協会内
(名古屋市中区白川町2丁目16番地)に於いて業務開始
一般資金融資開始
融資限度額30万円
瀧潤次郎理事長就任

1965 昭和40年

4月
民法第34条の規定による
財団法人認可

1967 昭和42年

10月
名古屋商工会議所5階
(名古屋市中区栄二丁目10番19号)へ事務所移転

1969 昭和44年

9月
清水和夫理事長就任

1970

1971 昭和46年

5月
機械類貸与開始
貸与限度額500万円

1973 昭和48年

6月
従業員独立開業資金融資開始
融資限度額200万円

1979 昭和54年

9月
髙見芳郎理事長就任

1980

1980 昭和55年

4月
商業地整備促進資金融資開始
融資限度額 団体1億円、
企業1,000万円

1983 昭和58年

10月
名古屋市中小企業振興会館5階
(現在地)へ事務所移転
名古屋市中小企業情報センター
開設

1985 昭和60年

4月
機械類貸与限度額変更
貸与限度額5,000万円

1987 昭和62年

9月
渡邉利幸理事長就任

1989 平成元年

4月
開業資金融資開始
(従業員独立開業資金融資改め)
融資限度額500万円

名古屋市信用保証協会ビル　名古屋商工会議所

1990

1990 平成2年
4月
設備近代化資金融資開始
融資限度額700万円
6月
片田耕司理事長就任
8月
融資・貸与残高100億円達成

1991 平成3年
4月
公社30周年記念式典開催
6月
田村史雄理事長就任

1993 平成5年
7月
経営支援特別資金融資開始
融資限度額500万円
9月
融資・貸与残高200億円達成

1995 平成7年
8月
融資・貸与残高300億円達成

1996 平成8年
1月
創業支援資金融資開始
(開業資金融資改め)
融資限度額1,000万円
(一部600万円)
4月
経営活性化資金融資開始(一般資金融資及び経営支援特別資金融資を統合)
融資限度額1,000万円

1997 平成9年
6月
望月健三理事長就任

2000

2000 平成12年
4月
創業・事業展開支援資金融資開始
(創業支援資金融資改め)
融資限度額1,000万円
(一部800万円)

2001 平成13年
11月
経営活性化資金(特別支援資金)
融資開始(牛海綿状脳症(BSE)関連)
融資限度額800万円

2002 平成14年
7月
寺澤孝典理事長就任

2003 平成15年
9月
経営活性化資金(特別支援資金)
融資終了(牛海綿状脳症(BSE)関連)

2004 平成16年
4月
経営活性化資金限度額変更
融資限度額1,200万円

2005 平成17年
4月
ものづくり産業支援資金融資開始
①ものづくり創業等資金
融資限度額1,000万円
②ものづくり設備導入資金
(設備近代化資金融資改め)
融資限度額1,200万円

2006 平成18年
4月
岡本浩理事長就任

2008 平成20年
4月
商店街活性化促進資金融資開始
(商業地整備促進資金融資改め)

2009 平成21年
7月
地域中小商店販売力強化支援事業開始(専門家おでかけ相談事業)

2010

2010 平成22年
3月
名古屋市からの情報センター受託事業終了

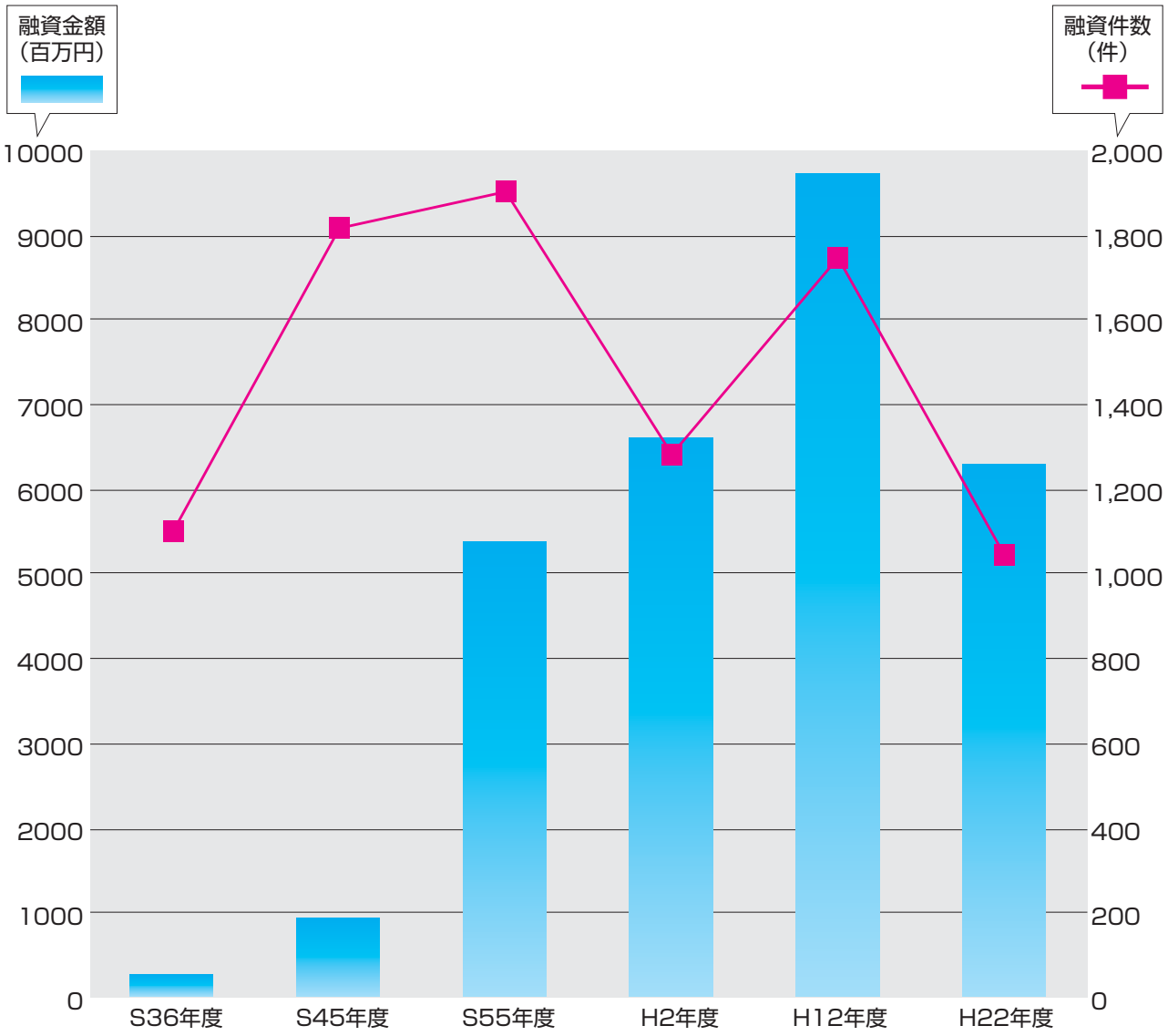
2011 平成23年
4月
公益財団法人へ移行
創立50周年を迎える

名古屋市中小企業振興会館

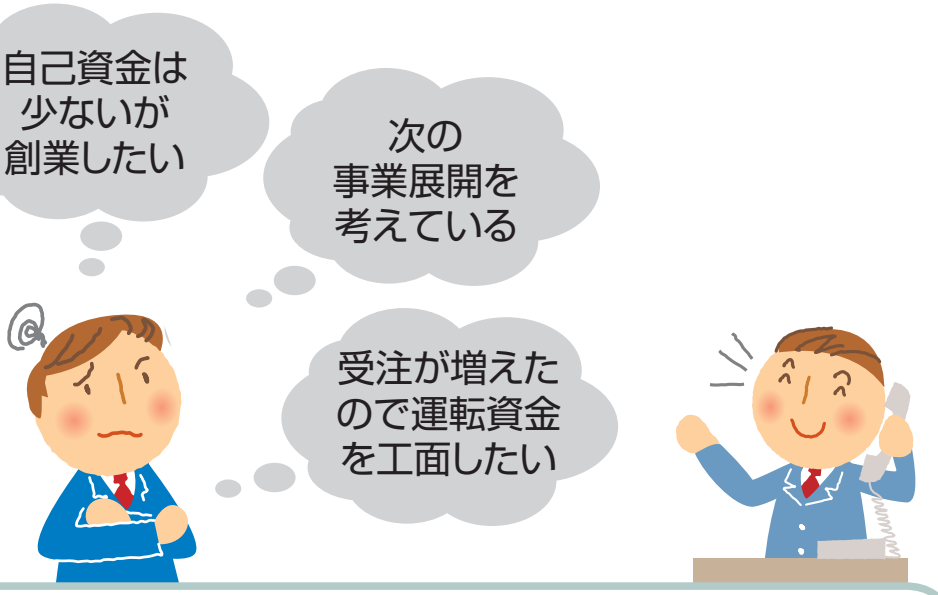
融資・貸与事業

融資実績
（設立～平成22年度）

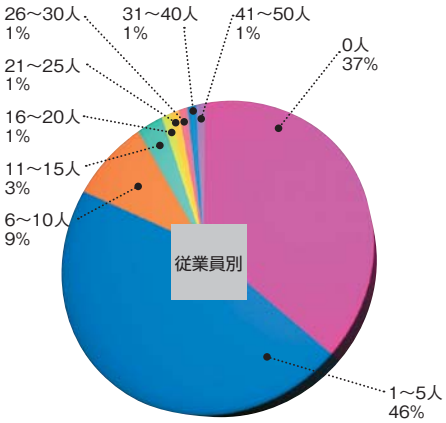
昭和30年代から名古屋の産業の発展と共に融資額も上昇してまいりました。
バブルの崩壊、世界的な金融･経済の低迷などにより、小規模事業者等を取り巻く環境はますます厳しい状況が続くものと予想されますが、好況、不況等時代のすう勢は変化しても、今後もみなさまの経営を総合的に支援してまいります。



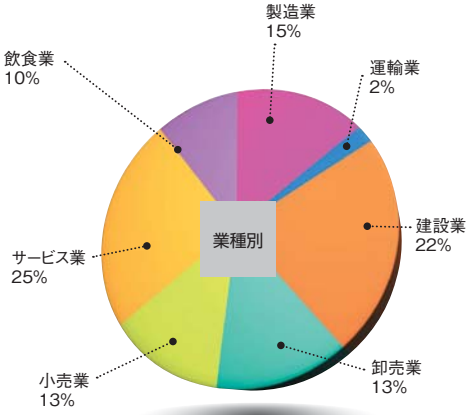
お客様のご利用状況



経営活性化資金利用者
［平成22年度実績］

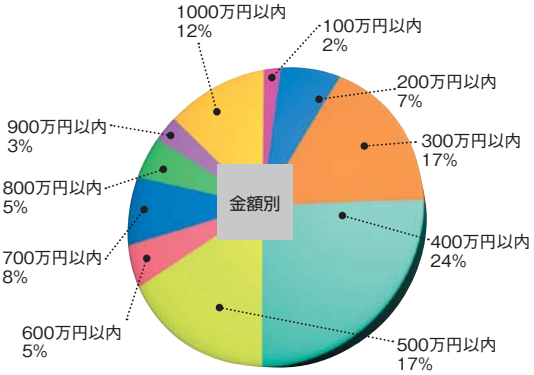


従業員5人以下のご利用が大半です。

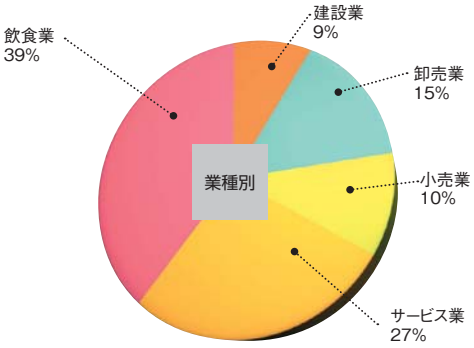


様々な業種のかたにご利用いただいています。

創業・事業展開支援資金利用者
［平成22年度実績］



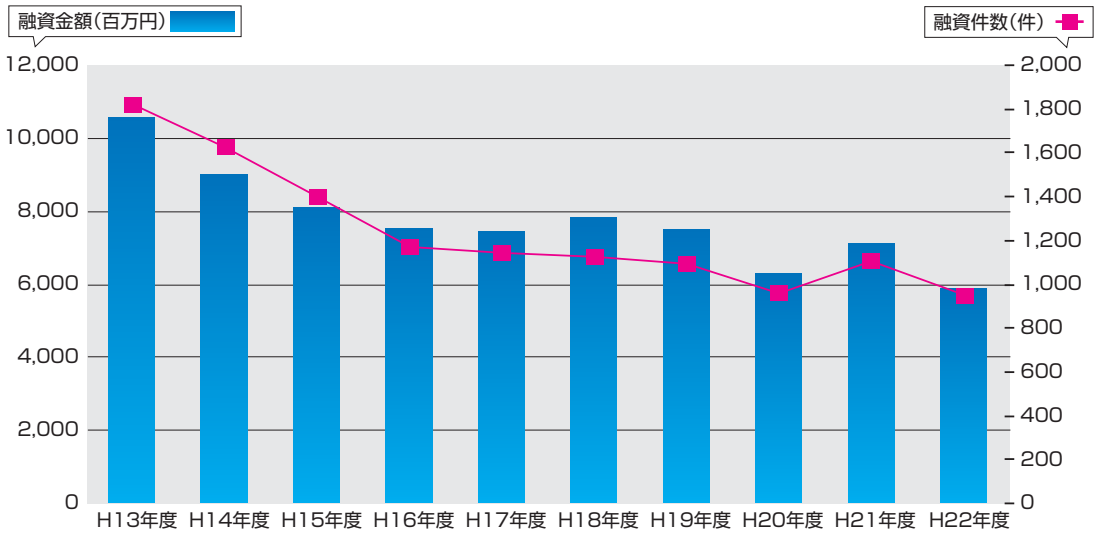
500万円以内のご利用が半分を占めています。



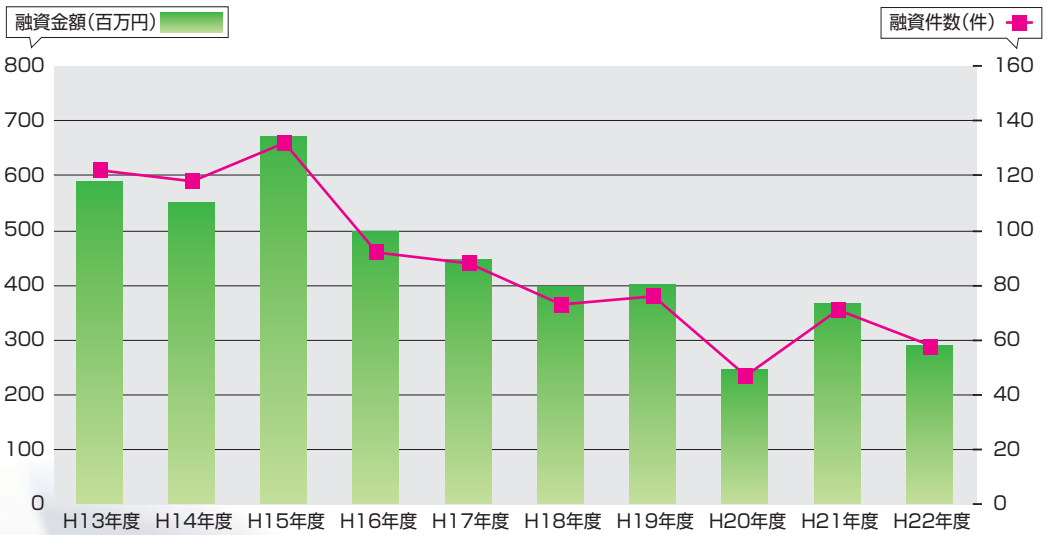
飲食、サービス、小売業のかたのご利用が多くなっています。

最近10年間の事業実績

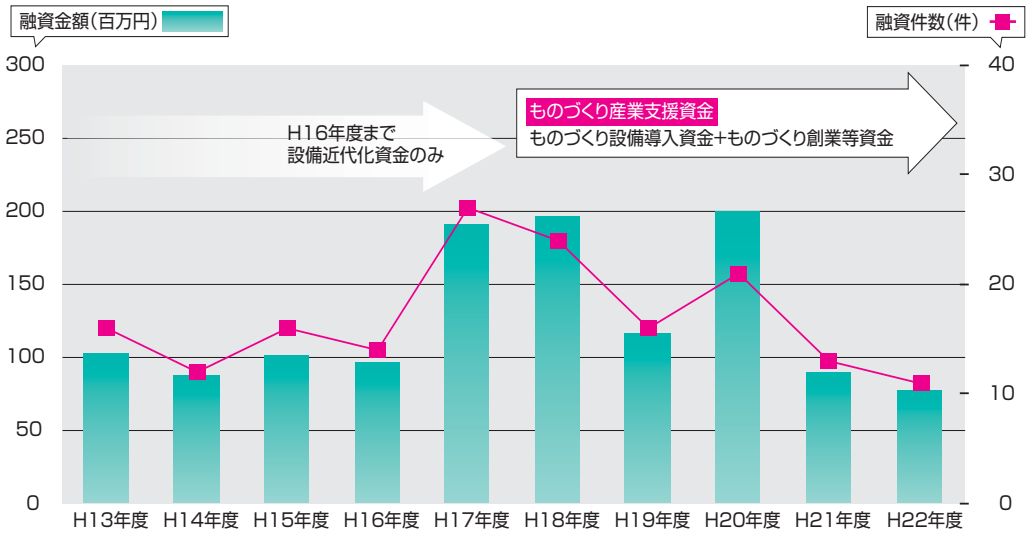
経営活性化
資金融資
推移



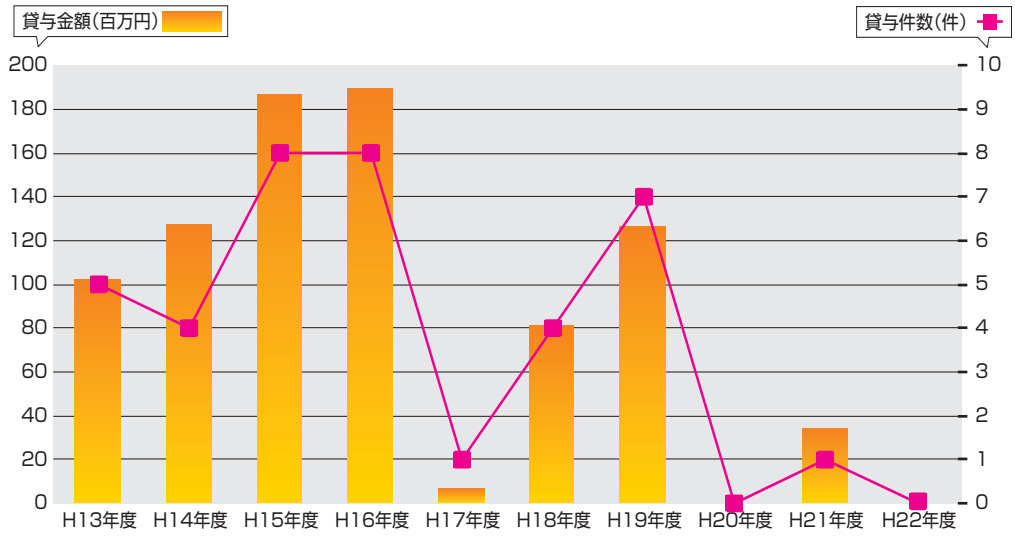
創業・事業展開
支援資金融資
推移



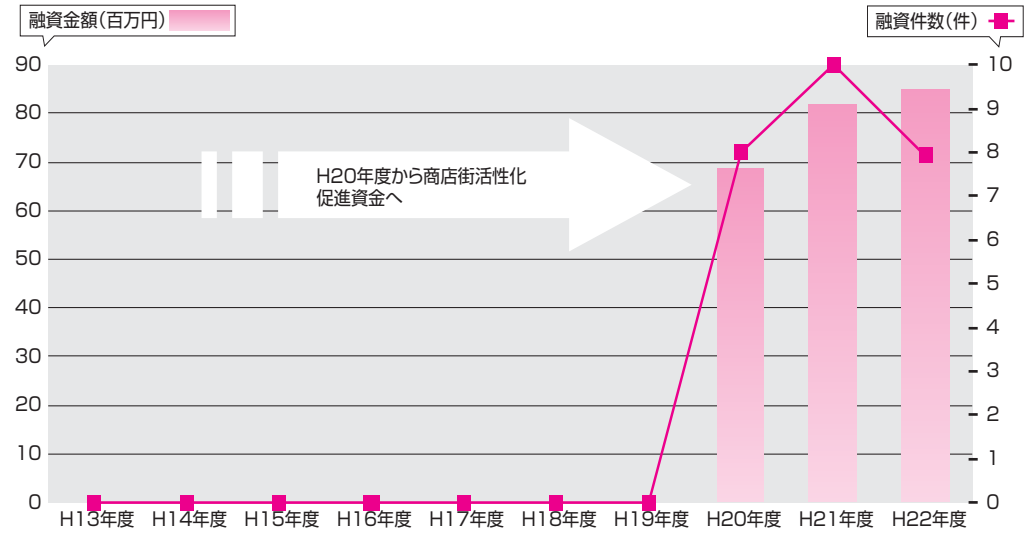
ものづくり産業支援資金推移



機械類貸与資金推移



商店街活性化促進資金推移

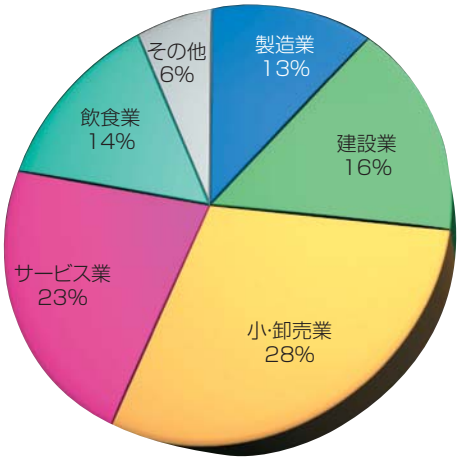


専門家おでかけ相談事業

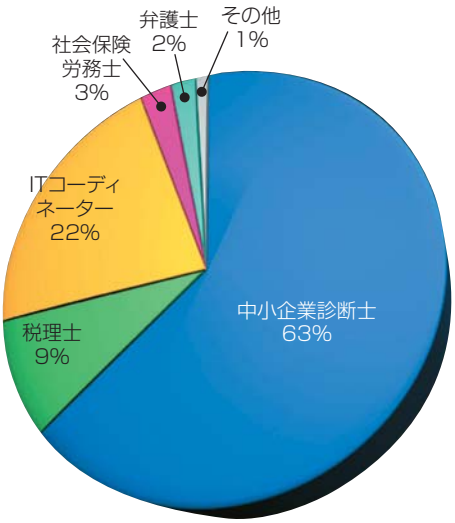
相談実績（H21.7～H23.3）

相談件数　215件／派遣回数　351回

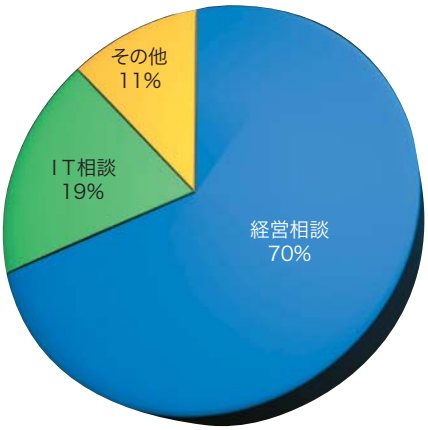
申込者の業種



専門家利用の内訳



相談の内容



相談事例

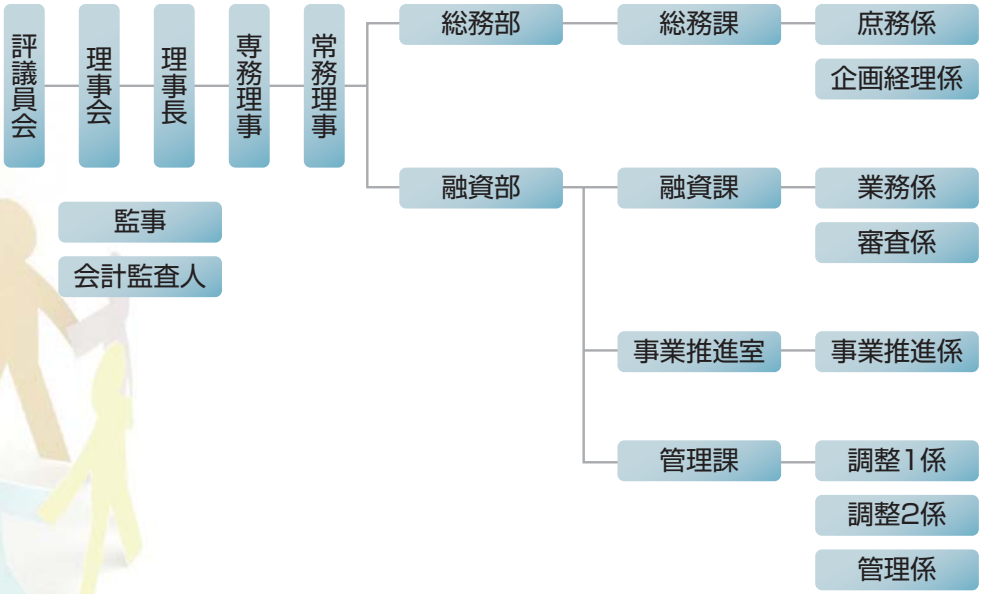
サービス業（整骨院）	**経営改善** リピーター獲得に関する指導を受け、来客数が増えました。	小売業	**ホームページリニューアル** オリジナル商品をメインにホームページをリニューアル。アクセス数が増え、来店者数も増えました。
小売業	**経営改善** 診断士から問題点を指摘され、社内の経営改善会議に活用しています。	飲食業	**ネット販売** 販売予定商品のニーズが無いことの指摘を受け、店舗売上増加に目標を切替えるよう助言されました。

概要・組織図

■公益財団法人名古屋市小規模金融公社 概要　（平成23年4月1日現在）

設立年月日	昭和36年4月4日（人格なき財団設立） 昭和40年4月1日（民法第34条による法人格取得） 平成23年4月1日（公益財団法人へ移行）
所　在　地	名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 名古屋市中小企業振興会館5階 TEL（052）735-2121　FAX（052）735-0400
基本財産	2億4千万円（内名古屋市の出捐2千万円）
理　事　長	岡本　浩
役　　員	評　議　員　13名 理　　事　8名（内常勤3名） 監　　事　1名 会計監査人　1名
職　　員	40名（嘱託職員含む）
事業内容	（1）小規模事業者等に対する金融・経営等に関する相談及び助言 （2）小規模事業者等に対する事業資金の貸付及び機械類の貸与 （ア）経営活性化の資金融資 （イ）創業・事業展開支援の資金融資 （ウ）商店街活性化推進の資金融資 （エ）ものづくり産業支援の資金融資 （オ）機械類の貸与

■組織図

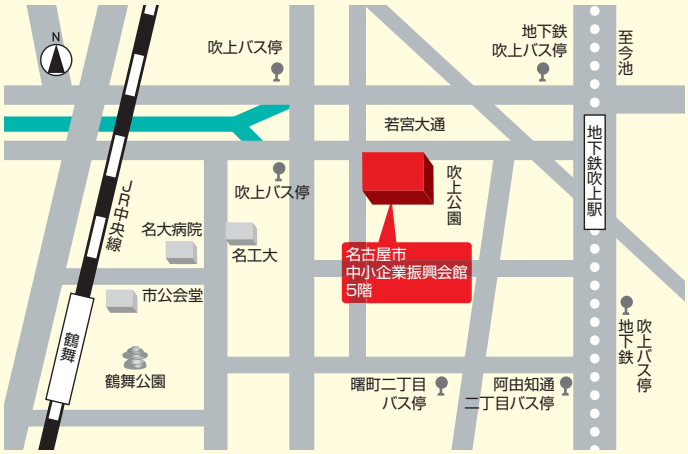


金融公社創立50周年事業
実施プロジェクト メンバー

リーダー　近藤 俊彦　　サブリーダー　加藤 雅史
委　　員　飯田 健詞　山本 薫　加藤 俊　冨田 知彦　佐藤 高広　壁谷 勢太

公益財団法人　名古屋市小規模事業金融公社

名古屋市千種区吹上二丁目6番3号（名古屋市中小企業振興会館5階）

TEL（052）735-2123　FAX（052）735-0400

金融公社ホームページアドレス　http://www.info-c.city.nagoya.jp/kinyu